

平成22年5月20日

学生の皆さん

兵庫県立大学学生部長

麻疹（はしか）に注意

春から夏にかけて麻疹（はしか）の流行期を迎えます。

麻疹は、極めて感染力が強い疾患で、1週間以上の高熱が続き、入院率や肺炎、脳炎、中耳炎などの合併症発生率も高い深刻な感染症です。

また、キャンパスで感染が拡大すると授業が休講となるほか、クラブ活動も対外試合を含めて禁止になるなど学生生活にも大きな影響が出ます。

学生の皆さんはワクチン接種を受けるなど予防に十分努めて下さい。

■はしかの症状は？

以下の症状はありませんか？

はしかの初期症状は、風邪とよく似ています。

- ・発熱、めやに、咳、発疹、鼻汁の症状があれば、医療機関で受診して下さい。
- ・「麻疹」と診断されたら・・・
大学（保健室または教員）に連絡して下さい。

■流行に備えて

日頃から下記の事項に留意して下さい。

1. 感染の可能性の高い今の時期には、睡眠や栄養を十分にとって健康管理に気をつけること
2. うがい、手洗いの徹底、およびマスクを着用すること
3. 麻疹ワクチン未接種で麻疹未罹患の者は、ワクチン接種を受けること
特に、実習やアルバイト、ボランティア活動等で子供や高齢者、病者など虚弱者に対応する学生は必要
4. 発熱（37.5度以上）があるときは外出しないこと
また、熱が下がっても3日間は外出しないこと
5. 解熱剤は医師に相談して服用すること